過去、現在から舞台は未来へ一火の鳥の新たなる物語、遂に完結!一

「火の鳥"道後温泉編"」第3話「そして、未来へ」 2020年11月20日(金)公開決定





日本のマンガ・アニメーションの先駆者・手塚治虫さんのライフワークといえる 「火の鳥」と「道後温泉本館」のコラボレーションによる「道後REBORNプロジェクト」。

道後REBORNプロジェクトの魅力を発信するのは日本が世界に誇るアニメーションです。 そして、オリジナルアニメーション「火の鳥"道後温泉編"」は、手塚治虫さんの原作を もとにスピンアウトした作品。時空を超え、「火の鳥」が道後温泉の歴史や物語に登場し、 道後温泉の時代の転換期には火の鳥が道後温泉を導いてきたというストーリーです。

2019 (平成31) 年5月24日 (金) 公開のプロローグ「大国主 (オオクニヌシ) と 少彦名 (スクナヒコナ) 」〜第1話「聖徳太子、来浴」、2020 (令和2) 年2月1日 (土) 公開の第2話「子規と漱石」に続き、完結編となる第3話「そして、未来へ」が 2020年11月20日 (金) から公開されます。

神話時代からの道後温泉の守り神である大国主と少彦名の「玉の石伝説」を題材にした プロローグ「大国主と少彦名」。西暦596年(飛鳥時代)の聖徳太子の来浴伝説を 題材にした第1話「聖徳太子、来浴」。明治27年(明治時代)の道後温泉本館改築当時を 舞台に、初代道後湯之町町長・伊佐庭如矢(いさにわゆきや)や棟梁・坂本又八郎(さか もとまたはちろう)、翌明治28年に、俳人・正岡子規と、友人の夏目漱石が連れ立って、 道後温泉本館を訪れたエピソードが題材の第2話「子規と漱石」と、時代を追って ストーリーを紡いできた火の鳥"道後温泉編"。

第3話となる本作は、道後・宝厳寺に生まれ、全国各地を遊行し、お札を配る 「賦算(ふさん)」や「遊行(ゆぎょう)」、「踊り念仏」で知られ、時宗の開祖である 「一遍上人」をキーマンに、鎌倉時代から現代、未来へとファンタジックなストーリーが 展開します。

「一遍上人」の声を演じるのは、今回新たにキャストに加わった板尾創路。あっと驚く、 破天荒なキャラクターの「一遍上人」は一見の価値ありです。

1

過去、現在から舞台は未来へ一火の鳥の新たなる物語、遂に完結!一

「火の鳥"道後温泉編"」第3話「そして、未来へ」





そして、3000年を超える歴史を誇り、日本最古と言われる道後温泉。 古くから大勢の偉人や墨客に愛され、多くの人たちの想いで守り継がれてきた道後温泉。 その象徴・道後温泉本館は保存修理工事という大きな時代の転換期を迎えています。

新たに再生する道後温泉本館はどうなっているのか? 100年後の道後温泉は果たしてどうなっているのか?

さまざまな時代で道後温泉を守ってきた人々の想いと、 火の鳥のエネルギーがタイムスリップを起こします。

第1話・第2話で登場したキャラクター(聖徳太子、正岡子規、夏目漱石など)たちもタイムスリップして登場するなど、アニメーションならではの演出で、完結編にふさわしい見どころ満載の作品となっています。

手塚プロダクションならではのタッチで描く未来の風景も、アニメファンならずとも 興味深いポイントと言えるでしょう。そんな未来に思いを馳せつつ、道後温泉本館の 保存修理工事中も入浴可能な道後温泉にゆったりとつかってみるのはいかがでしょうか。

最後に、今を生きる私たちへ火の鳥からのメッセージも・・・。

現在の道後温泉本館の保存修理工事の意義を知っていただく機会となる作品です。 ぜひ、オリジナルアニメーション「火の鳥"道後温泉編"」の世界をお楽しみください。

【声の出演】

大国主・伊佐庭如矢:つるの剛士 少彦名・坂本又八郎:三森すずこ

一遍上人:板尾創路 火の鳥:水樹奈々

マドンナ・ナレーション:友近(「いい、加減。まつやま」応援団長)

アニメーション制作:手塚プロダクション 制作:ポニーキャニオン

脚本: 增本庄一郎 西村太佑 監督: 吉村文宏

©手塚プロダクション/松山市 2020 (第3話本編約6分/全体約8分) ※手塚治虫・手塚プロダクションの塚は旧字が正式です。印刷物では旧字をご使用下さい。

「火の鳥"道後温泉編"」第3話「そして、未来へ」 あらすじ①

■時は1288年(正応元年)鎌倉時代。各地を遊行して回る一遍上人。 その一途な思いを見つめる「火の鳥」との交感でさらなる悟りを得ます。





■伊予国(いよのくに)道後温泉に帰ってきた一遍上人。 湯釜に文字を掘ったり(史実では文字の揮毫のみで実際に彫ったのは別人と言われ ています。)、村人たちと踊りながら念仏を唱え穏やかに日々を過ごしています。





■時は移って2020年、営業しながらの保存修理工事中の道後温泉本館。 従業員として忙しく働く大国主と少彦名。そこに火の鳥が現れ、3000年にわたる 二人の貢献を称え、その思いを未来へ伝えましょうと言い残し飛び去っていきます。





「火の鳥"道後温泉編"」第3話「そして、未来へ」 あらすじ②

■盆踊りの櫓になんと「一遍上人」がDJ姿で登場。 そして懐かしいキャラクター達もタイムスリップして続々と登場! 皆で踊って盛り上がりは最高潮へ。









■そしてDJ一遍の音頭で一気に100年後へとさらにタイムスリップ。 100年後の道後温泉は・・・? 火の鳥の最後のメッセージとは?



